

# 都市と交通

きいろ

C125 石綿心愛 C1250591 太田夏希  
C125 奥山凜香 C125 根本里乃杏

# 1.問題

- 交通事故が多い
- 高齢者の事故が多い
- 免許返納したいと思っても  
現在の生活環境では返納が困難
- 中高生の自転車運転中の事故が多い

## 2.原因の洗い出しと問題点／3.課題

### 交通事故が多い

- ・道が狭く自転車との距離が近い
- ・街頭が少ない道路がある
- ・ながら運転

昼夜問わず明るく安全な環境を整備するには

### 高齢者の事故が多い

- ・高齢化による身体能力や認知機能の低下
- ・操作ミス(踏み間違い)
- ・病気

適正な運転の制限を設けつつ公共交通機関の利用を促すためには

### 中高生の自転車事故が多い

- ・自転車専用レーンが確保されていない
- ・飛び出し
- ・スマホやイヤホン

車と共存し事故を防ぐ道路をつくるには

### 免許返納が現在の生活環境では返納が困難

- ・公共交通機関の未整備
- ・生活に必要な施設が点在
- ・自家用車での運転に慣れている

施設や環境を整備し「歩けるまちづくり」をしていくには

# 4. 解決策の提案

## ～誰もが安全に移動できる歩行者中心のまちづくり～

### ゾーン30プラスの拡大・新設

- ・ 特定の生活道路やスクールゾーン、事故が多い区間に限定し最高速度30kmに制限
- ・ ハンプ(緩やかな段差)やシケイン(あえて曲げた道)などの設置

### パーク＆ライド導入

- ・ 中心部への車の侵入を制限し歩行者専用エリア拡大(土日限定の実施)

### スクールゾーンの時間規制

- ・ 試験的に登下校の時間帯や利用者が多い区間を歩行者天国化
- ・ ライジングボラード

### 歩行空間を色分け

- ・ 道の端や歩行スペースを色分けし、歩行者と車の境界を明確化

# 5.期待される効果・課題

## ～誰もが安全に移動できる歩行者中心のまちづくり～

### ゾーン30プラスの拡大・新設

- ・道路全体を改修するよりも費用が削減可能
- ・物理的にスピードを出せなくなるため緊張感を保たまま運転できる

### パーク＆ライド導入

- ・車が走らないエリアを作ることで安心して歩ける空間ができる
- ・既存の駐車場を利用することで費用を抑えながら導入できる

### スクールゾーンの時間規制

- ・交通規制が実施されている時間帯等の車両の侵入を抑止するため、中高生だけでなく、未就学児・小学生も安心できる空間を確保できる
- ・一番危険な時間に限定することで事故が起きにくい環境ができ実用性の高い事故防止ができる

### 歩行空間を色分け

- ・歩道が狭い道路や歩行者と車の距離が近い道路にも有効
- ・夜間や悪天候の際の視認性が向上する
- ・試験的導入から始めやすい